



馬車道通信

『伝わる写真を撮るためのポイント』が学べる

広報・記録のための
デジカメ写真
 入門講座

イベントや行事・研修会の様子…参加してくれた人の気持ちや会の雰囲気は、どんなにたくさんの言葉を並べるよりも、一枚の写真の方が、よりダイレクトに伝わります。

誰でもカンタンに使えるデジタルカメラを活用し、人の心に伝わる写真を撮るコツを学びます！

プロの写真家による、分かりやすくポイントをまとめた大人気の入門講座です。

たくさん写真を撮ったが何をしているのかわからないものばかり

楽しいイベントだったはずが写真で寂しく見えてしまう

広報や記録の写真こんな悩みはありませんか？

- 日 時：平成29年6月15日(木) 9:30~12:30
- 対 象：青少年に関わる活動や団体/個人・施設スタッフ、非営利組織や活動において、広報・PR活動に関わっている人、等。
- 定 員：5/11(木)~先着30名 ■ 参加費：2,000円
- 持 物：筆記用具、デジタルカメラ(機種は問いません) **※必ずご用意ください。**
- 会 場：横浜市青少年育成センター 第1研修室
- 申 込 み：①講座名「デジカメ写真入門講座」②氏名(ふりがな) ③連絡先(Tel、E-mail) ④所属・活動(あれば)を明記の上、TEL・FAX・HPの専用フォームでお申込み下さい。

【HP 申込専用フォーム】
<http://yokohama-youth.jp/ikusei/course/>

情報スポットから 助成金の活用 No.15

子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在募集中の助成団体を掲載しました。ぜひ、活用し、活動を充実させていきましょう。

(この他にも情報があります。詳しくは窓口でお尋ね下さい。)

助成制度名公募	助成対象	助成金額	募集期間
アジア留学生等支援基金	日本の大学に在籍するアジアからの留学生に対してインターンを受入れ指導している民間非営利団体	上限額 25~45万円 (1件あたり)	~2017/6/9
公益信託 アジア・コミュニティ・トラスト			
チャレンジ応援プロジェクト	新しいことにチャレンジしたい、昔ながらの伝統を守りたい、子供たちのために何かをしたいなど「志」を持った団体、個人	上限額 30万円 (1件あたり)	3ヶ月毎
株式会社 タカラレーベン			
スポーツ事業部関連 事業助成金	市町村において子どもスポーツ活動、地域スポーツ活動等を推進するための組織団体	助成対象事業費 (年度毎に定める)	毎年 4/1~7/31
公益財団法人 ライフスポーツ財団			
助成金 特別募集	障害児(者)の医療、自立、福祉向上を目的とした各種のボランティア活動をしている団体	審査により承認された額	通年
日本メイスン財団			



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～



『横浜紫友会合唱団』（第1研修室利用）

横浜紫友会合唱団は、横浜市西区のみなとみらい地区を中心に活動している混声合唱団です。「心でうたいあげる音楽」を目指し、2001年に発足。毎週火曜日夜間に集まり、楽しく真剣に歌っています。現在団員数58名。主な活動は、年1回の定期演奏会のほか、合唱祭・音楽祭への参加などで、地域活動も積極的に行っています。お互いを尊重し助け合う姿勢を持ち、真剣に音楽を楽しみたい人たちが集い、週1回の練習に臨んでいます。レパートリーは、宗教曲から日本の愛唱歌まで多岐に渡り、ジャンルを問わず良い音楽を演奏するスタンスを取っています。近年ではオーケストラを伴う合唱曲を積極的に取り入れたコンサートを開催しています。合唱は初めてという人が多いですが、経験者が優しく導き一緒に音楽を創りましょうという雰囲気を作り、練習時に録音機がずらっと並ぶのも紫友会らしい光景です。

【イベント】第16回定期演奏会 2017年9月9日（土）13:00開場 13:30開演 神奈川県立音楽堂

青少年のみなさんへ
ステキなメッセージを
いただきました！

自分の歌声がこの美しいハーモニーを作り上げていると感じたとき、この上ない快感と高揚感が包み込んでくれます。また、その時その時に歌ったうたは、思い出の日記帳になります。合唱の魅力は実は半端なくディープな世界です。ぜひ歌いに来てください。
（横浜紫友会合唱団 葭田さん 談）

馬車道 コラム Vol.51 理屈めきに楽しい！

「姉弟 Jazz ユニット・サファリパーク Duo」というバンドをご存知だろうか？

トランペットを吹くお姉さん野村琴音さん（18歳）とキーボードを弾く弟の郷詩さん（13歳）の姉弟コンビのジャズバンドである。マスコミでもよく取り上げられているので、ご存知の方も多いかもしいない。実はお姉さんが馬車道にある「驛の食卓」を運営する「横浜ビール」の社員として新たな1歩を踏み出したというニュースが、今日<ジャズおやじ>のフェイスブックに舞い込んで来た。障がいがあるながらもトランペットというマスターしにくい楽器を操り、ジャズと言う複雑な音楽に挑み、そして今度は社会人として働くことに挑戦している。同じジャズを愛する者のひとりとして早速、「驛の食卓」に

行って、彼女に声をかけてこようかと思っている。できれば、彼女の門出をビールで乾杯したい気分だ。こどもだと思って侮るなかれ！ぜひYouTubeでこの二人の演奏を聞いてみてほしい。技術的に上手い、下手ではない。ジャズ本来の楽しさや醍醐味を十二分に感じさせてくれる演奏なのだ。理屈めきに楽しい。<ジャズおやじ>も彼等のジャズを聞いて涙してしまったのである。
<ジャズおやじ>



よろしく
お願いします



はじめまして。4月1日で育成センターに配属になりましたが、「よこはまユース」では5年ほど前から働いています。これまでも施設の運営職員として市民の皆様のお役に立てるよう努めてまいりました。この度「港町横浜」の原点ともいえる関内・馬車道で働けることを楽しみにしてまいりました。一日も早く施設の魅力の一端を担えるよう頑張ります。よろしくお願いたします！
（職員 本田）

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail:ikusei@yokohama-youth.jp

